測量計算・電子野帳（TS）

A-SurveyAd

Android

エース プロジェクト

2022/01

Ver3.8.3 で追加、修正された機能を説明します。

・TIN サーフェスを LandXML ファイルに保存

１、TIN サーフェスを LandXML ファイルに保存

「放射トラバース」、「GPS 座標測定」にて、「TIN 作成」を実行したときに
現場フォルダ内の、TIN フォルダに “基準面_LandXML.xml” ファイルを
作成します。

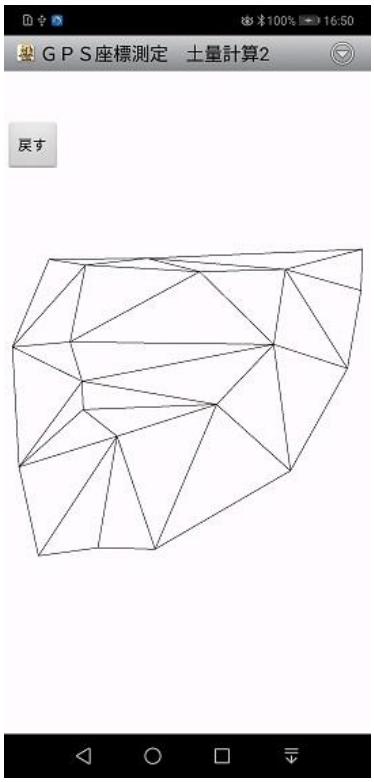
「座標法面積計算」では、「土量」を実行したときに
現場フォルダ内の、体積フォルダに LandXML_地番名.xml ファイルを
作成します。

この LandXML ファイルの内容は、TIN の構成座標データと TIN サーフェスの
データです。
このファイルを、他のソフトで活用する事ができます。

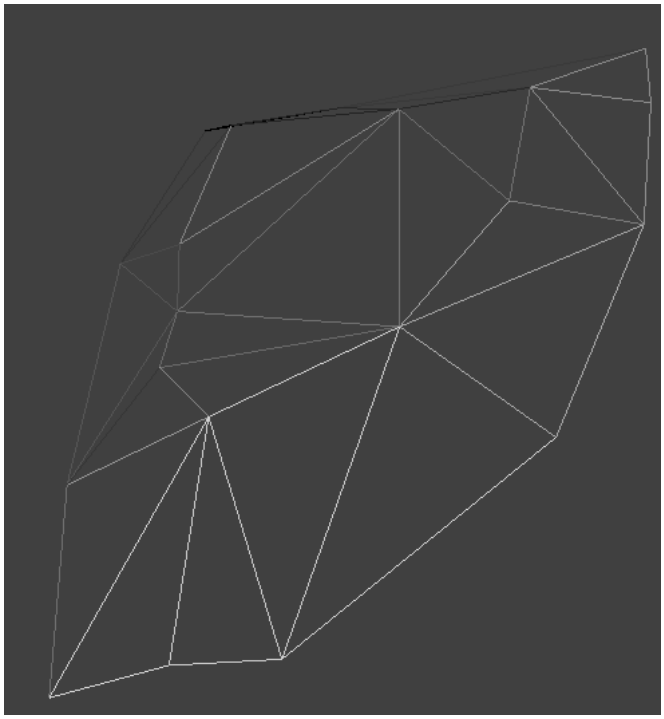
LandXML とは、

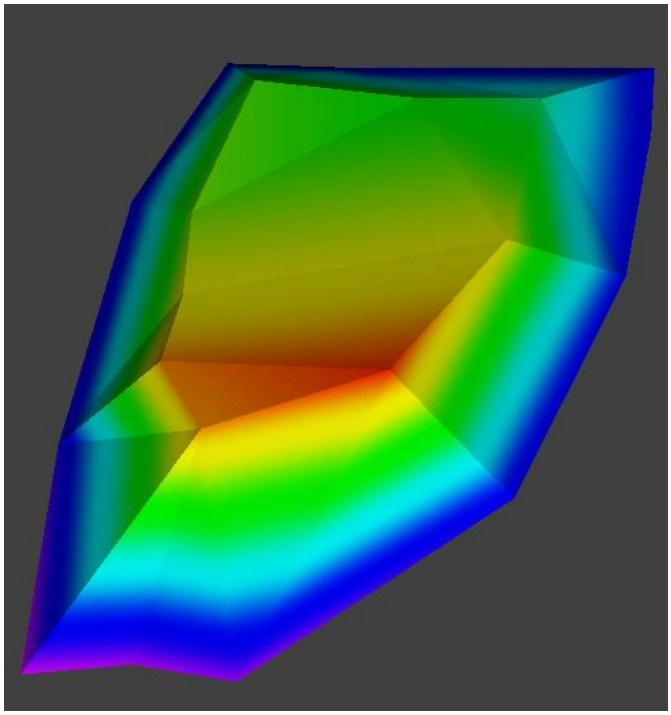
https://jacicloud.jp/study/1.LandXML.pdf

下記は、A-AdB で作成した LandXML ファイルをビュワーソフトで、表示した例です。



ビュワーソフトでの、ワイヤーフレーム表示と、カラー表示





「放射トラバース」、「GPS 座標測定」にて、「TIN 切替」、「TIN 削除」を行った場合は「現場データ保存」を実行すると、編集後のデータで LandXML ファイルを再度保存します。